



【FinTech】株式会社マネーフォワードとの業務提携契約の締結について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：佐藤 康博、以下「みずほFG」）は、お金のプラットフォームを提供する株式会社マネーフォワード（代表取締役社長 CEO：辻 庸介、以下「マネーフォワード」）と、法人・個人の分野にとどまらない決済サービスの提供等、「カンタン」、「ベンリ」な金融サービスの提供を目的とした業務提携契約を本日締結しました。また、みずほFG傘下の株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀、以下「みずほ銀行」）がみずほキャピタル株式会社（社長：齊藤 肇）と出資する「みずほFinTech ファンド（※1）」が、マネーフォワードの第三者割当増資の引き受けを実施しました。

みずほ銀行とマネーフォワードは、これまでも、法人のお客さま向けに「請求・売掛金消し込み事務の自動化支援」、「給与支払い事務の自動化支援」を行っています。

今般の業務提携契約の締結、出資を契機に、〈みずほ〉とマネーフォワードは、これまでの法人のお客さま向けの会計業務支援のみならず、個人のお客さま向けの利便性向上を企図した家計簿管理サービス提供における連携や、「お金」に関する知識啓蒙を狙った共同セミナーの開催、イベント協賛、各サービスにおけるAPI（※2）をベースとしたシステム連携等、幅広い事業領域において具体的な検討を行っていきます。

〈みずほ〉はこれからもフィンテック企業の技術、ソリューションを積極的に活用し、法人・個人問わず、お客さま向けに利便性の高いサービスを提供すべく取り組んでいきます。

（※1）「みずほFinTech ファンド」とは、みずほキャピタルが運営する、優れた金融関連テクノロジーを有するベンチャー企業への出資を目的として組成されたプライベートエクイティファンド。

（※2）「API」とは「Application Programming Interface」の略。外部のサービス等とのシステム連携をするためのプログラムやインターフェース。APIの提供により、自社サービスの機能を外部企業へ開放することが可能となり、より多くのお客さまへ簡便に自社サービスを利用していただくような仕組みが構築できる。